

## 第2章

### 施策マネジメントシートによる評価



## まちづくりの基本目標 2

心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり

### 1 学校教育の充実

第5期芽室町総合計画

政 策	2-1 豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実
施 策	2-1-1 学校教育の充実
主 管 課	教育推進課

### 2 社会教育の推進

第5期芽室町総合計画

政 策	2-1 豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実
施 策	2-1-2 社会教育の推進[主管課]社会教育課
主 管 課	生涯学習課

### 3 地域文化の振興

第5期芽室町総合計画

政 策	2-2 地域文化の形成とスポーツ環境の充実
施 策	2-2-1 地域文化の振興
主 管 課	生涯学習課

### 4 スポーツしやすい環境づくり

第5期芽室町総合計画

政 策	2-2 地域文化の形成とスポーツ環境の充実
施 策	2-2-2 スポーツしやすい環境づくり
主 管 課	生涯学習課



施策番号 2-1-1	施策名 学校教育の充実	基本目標 豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実
	主管課 教育推進課	課長名 有澤勝昭 内線 441
	施策関係課	

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図	結果					
地域社会と連携しながら信頼される学校づくりを推進し、新しい時代を自ら切り拓くことができる心身豊かな人づくりを目指します。	児童生徒	・確かな学力、豊かな心と健やかな体を育み、未来を切り開くための資質・能力を身につける	児童生徒が社会に出たときに自立できる					
成果指標	説明	単位	設定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度目標	達成度
①「授業の内容がわかる」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	75.8	74.0	77.1	72.9	80.0	
②「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	72.2	77.4	75.8	79.5	78.0	
③「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	85.7	87.7	85.2	87.7	90.0	
④								
成果指標 設定の考え方	成果指標の設定は、全国学力・学習状況調査の結果を採用し、「豊かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む上で、3つの指標を設定した。 目標値の設定は、各成果指標共に5%程度の上昇を目指し設定した。							

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算
施策事業費(千円)	907,458	895,658	1,184,039	1,049,496
人工数(業務量)	6.4412	7.0169	7.5902	7.5132

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標②と③は上昇したが①は低下。⇒ ①の低下は、コロナ禍における学級閉鎖により、幾度と学習スケジュールの変更を余儀なくされたことも要因と思われる。なお、学力調査における点数では、低下は伺えない。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①、②の指標については、小学校全学年での35人以下学級編成や授業改善推進チームの組織的定着、地域コーディネーター複数配置による特別支援教育の充実、児童生徒一人一台端末の配布による個に応じた学習支援の推進、更には、令和3年度に策定した「不登校支援システム」を運用することで目標達成を目指す。 ③の指標については、栄養教諭による全校全学級を対象とした食育指導の継続や令和3年度より開始した「食農教育」の充実により目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する2021年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	①児童生徒支援事業 ②小学校・中学校教材・教具整備事業 ③学校給食管理運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「①」⇒小学校全学年35人以下学級編成のため、町独自で臨時教諭を配置した。特別支援教育の推進のため、地域コーディネーターや教育活動指導助手、学校支援員を配置、不登校支援システムを策定し、個に応じた学習支援を実施した。 ・「②」⇒学校におけるICT教育推進のため、令和3年度から児童生徒一人一台の端末を配備すると共に、大型提示装置や学習支援ソフト(AIドリル、プログラミングソフト)を導入し、個別最適な学の環境を整備した。 ・「③」⇒栄養教諭による全校全学級の食育指導を実施すると共に、芽室産食材を活用した「めむろまるごと給食」の提供や「食農教育」の充実を進めた。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課評価	少人数学級編成、特別支援教育、不登校支援、ICT教育環境の整備など、誰一人取り残すことのない個に応じた学びの場の充実を図ることで、計画策定時と比較し前進したと考える。		A	B	C	D	E
	進捗結果			○			

A:実現した  
B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  
D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した

C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した  
E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	《施策を取り巻く状況》 ①学校施設などの老朽化対策や多様なニーズへの対応。(R1:学校施設等長寿命化計画策定)／②「社会に開かれた教育課程」の実現を重視した新学習指導要領への対応。(R2:小学校、R3:中学校で全面実施)／③特別な支援や配慮を必要とする児童生徒の増加への対応。(R2:地域コーディネーター複数配置)／④学校におけるICT環境整備への対応(R2:ICT整備・活用指針策定)⑤登校に困難を抱える児童生徒の増加への対応(R3:不登校支援システム策定) 《今後の予測》 ①児童生徒数の減少を踏まえた計画的整備が必要である。／②コミュニティ・スクールの推進が必要である。／③発達支援システムに基づき地域コーディネーターを核とした組織的・計画的に進める必要がある。／④国が推奨するICT環境の整備は完了したが、活用について研究を進める必要がある。／⑤不登校支援システムに基づき、初期・中長期対応を組織的・計画的に進める必要がある。
施策に対する住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	・「地域とともにある学校づくり」としてのコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進。(R1:学校運営協議会制度開始) ・「GIGAスクール構想」の実現に向けたICT計画の策定。(R2:茅室町教育委員会ICT整備・活用指針策定) ・食農教育の推進を踏まえた「めむろまるごと給食」の事業見直し。(R3:食農教育開始)

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

- 新学習指導要領実施など教育環境の整備に向けた対応(児童生徒支援事業、小学校・中学校教材・教具整備事業)
  - ⇒外国語活動・外国語科の推進に向けた英語指導助手の配置、ICT教育環境(活用面)の整備
  - ⇒少人数学級の継続、発達支援システムと連携した特別支援教育の充実に向けた人員の配置
- 学校施設などの環境整備(小学校・中学校施設維持管理事業)
  - ⇒茅室町学校施設等長寿命化計画に基づき、少子化を踏まえた改修と多様なニーズに対応した施設整備
- 学校給食の提供や食育指導に向けた対応(学校給食管理運営事業)
  - ⇒町単独の管理栄養士の配置による食育・食農教育の充実

6. 経営戦略会議(府内評価)

評価	成果指標等から、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
	進捗結果			○			
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	教育委員会や先生の取組みを評価し、成果指標②と③が向上しており、不登校支援システム等の新しい取組みから、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
	進捗結果			○			
今後の取組に対する意見	・行政側からの発信が少し堅く、積極的な発信方法を考えて欲しい ・不登校システムは、専門家など専門性がより必要となるのではないか ・コロナ禍による影響に対して、ソフト面を強化してほしい ・不登校など悩みを抱えている生徒への支援を行ってほしい ・民生委員へ生徒の情報を公開してほしい ・5に記載の取組みを進めて下さい	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

No.	施策番号	施策名	外部意見			担当課
14	2-1-1	学校教育の充実	意見	行政側からの学校教育に関する発信が少し堅く、積極的な発信方法を考えてほしい		教育推進課
			対応方針	① 対応する 2 検討する 3 対応不可		
			対応事業名			
			対応内容	広報誌だけでなく、町HPやfacebook等も活用し、町民の方にわかりやすい表現を心掛けながら発信いたします。		
15	2-1-1	学校教育の充実	意見	不登校システムは、専門家などの意見等、専門性がより必要となるのではないか。		教育推進課
			対応方針	① 対応する ② 検討する 3 対応不可		
			対応事業名	児童生徒支援事業		
			対応内容	不登校支援システムを構築するにあたっては、構築協議会に有識者の方にも参加いただきながら構築しております。今後についても、外部の意見が必要な場面においては、専門家等の意見も参考にしながら不登校支援システムを推進してまいります。		
16	2-1-1	学校教育の充実	意見	コロナ禍による影響に対して、ソフト面を強化してほしい。		教育推進課
			対応方針	① 対応する 2 検討する 3 対応不可		
			対応事業名	教材・教具整備事業(小・中)		
			対応内容	学級閉鎖等で、学校に登校できない児童生徒に対しては、タブレットを活用し、遠隔学習を行うなど、児童生徒の学びを止めない取り組みを実施いたします。		
17	2-1-1	学校教育の充実	意見	不登校など悩みを抱えている生徒への支援を行ってほしい。		教育推進課
			対応方針	① 対応する 2 検討する 3 対応不可		
			対応事業名	児童生徒支援事業		
			対応内容	いじめや不登校などの悩みを持つ児童生徒に対して、スクールライフアドバイザーや教育支援センター指導員を活用した教育相談の充実を図るとともに、組織的かつ計画的に不登校支援を実施する不登校支援システムの推進により、登校に困難を抱える児童生徒への多様な学びの保障に努めます。		
18	2-1-1	学校教育の充実	意見	民生委員へ生徒の情報を公開してほしい。		健康福祉推進課
			対応方針	① 対応する 2 検討する 3 対応不可		
			対応事業名	児童生徒支援事業		
			対応内容	民生委員へ児童生徒に係る情報公開が必要な事案が生じた際には、その都度公開可能な範囲で対応いたします。		

## 2022年度 施策マネジメントシート【2021年度実績評価】

作成：2022年6月15日

施策番号 2-1-2	施策名 社会教育の推進	基本目標 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり 政策名 豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実
	主管課 生涯学習課	課長名 日下勝祐 内線 451
	施策関係課 教育推進課	

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図		結果		
学習機会や場の提供など学習環境の充実を図るとともに、自発的な取組への支援を図ります。		町民		・「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学ぶことができる学習環境を整備する		町民一人ひとりが自ら進んで学習に取り組み、人と人がふれあい、心豊かに充実した生涯を過ごせるまちづくり		
成果指標	説明	単位	年度別実績(実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度目標	
①児童生徒の社会教育事業への参加者数	生涯学習課(旧社会教育課)調べ	人	1,313	881	595	419	1,190	
②生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	%	39.1	75.4	80.0	76.0	45.0	
③								
④								
成果指標 設定の考え方	①児童生徒数の減少率を考慮するも参加率を維持するもの。 ②前期計画で達成できなかった40%の目標値を超える評価を目指すもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更)							

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算
施策事業費(千円)	148,955	115,606	141,350	113,464
人手数(業務量)	3.4688	3.7783	3.5428	3.5343

## 3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input checked="" type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①社会教育事業全般において、コロナ感染症の影響により中止又は制限を設けた大幅な事業規模縮小を余儀なくされ、十分な成果を上げることができなかった。特に児童生徒を対象とした体験・交流事業への影響が大きかった。 ②コミュニティスクール事業への参加が増加した一方で、公民館、図書館、ふるさと歴史館の各種講座など、コロナ対策による中止、縮小が大きな影響を与えたものと思われる。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる  <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能  <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	児童生徒の社会教育事業への参加については、体験・交流事業の再開とジモト大学事業など地域コミュニティの活性化にもつながる事業を積極的に推進する。 また、生涯学習機会の充実では、特にコミュニティスクールでの地域住民の参画を積極的にコーディネートすることや、社会教育施設における各分野ごと、年齢層等に応じた各講座等の実施、町民活動組織との連携・協働する事業を推進する。
(2)施策の成果評価に対する2021年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	少年教育活動運営事業 中学生国際交流事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	社会教育事業全般にわたり、昨年度から引き続きコロナ感染症の影響による事業の中止や大幅な事業規模の縮小となるものが多く、実施できる事業が限られ、十分な学習機会の提供が図れない結果となつた。 また、R3年度をもって勤労青少年ホーム及び集団研修施設「かっここう」の社会教育事業としての供用を終えたが、これらの影響が生じないよう、今後の社会教育事業の実施において考慮する必要がある。 大きな成果と今後更に充実させるべき事業は、コミュニティスクールにおける地域学校協働活動である。事業の実施にあたり地域のボランティアの皆さんや各組織、団体の方々の参画により、児童生徒の育みを支えることはもとより、地域コミュニティの活性化が図られる事業であることから、より充実した内容となるよう取り組む必要がある。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課評価	児童生徒の社会教育事業への参加については、コロナ禍により大きく減少したが、人財育成事業の芽室ジモト大学事業への着手、地域コミュニティの活性化に繋がるコミュニティスクール活動の充実に努めた。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

A:実現した      B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  
D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した      C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した  
E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習において「いつでも、どこでも、誰でも」が自由に学べる学習環境の整備 →学習形態の進展・多様化に対応するためのデジタル学習への対応</li> <li>子ども会活動の減少、高齢者学級「柏樹学園」の課題 →子ども会 地域活動や広域での連携、世代間交流の実施などによるコミュニティ活動の推進 →柏樹学園 学習プログラムの見直しと学園生確保策の再考</li> <li>・コミュニティ・スクールやジモト大学事業の取組みによる地域コミュニティの活性化、地域教育力の向上 →地域ボランティア活動の推進</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの取組みについて周知方法の多様化</li> <li>・子ども会活動の継続支援(単位会の減少や役員のなり手不足)</li> <li>・ふるさと歴史館の事業充実(各種講座、特別展示等)</li> <li>・図書館の機能充実、電子図書の導入</li> </ul>

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

・社会教育推進中期計画(H31-R4)の着実な推進 →コミュニティ・スクールの充実。地域学校協働活動の全町的な取組みと学校運営への明確な位置づけ。地域コミュニティの活性化。 →ジモト大学事業による人財育成。人的ネットワーク形成。地域コミュニティの活性化。 →高齢者学級の学習プログラムの随時見直し。通園のための交通手段の確保。 →各種体験、交流事業の再開
・社会教育施設の有効活用と維持管理 →公民館機能の発揮(各種講座、イベント等の再開と推進強化) →図書館機能の再点検(学習環境の在り方と電子図書の導入) →ふるさと歴史館の運営方法と事業の充実(各種講座、体験会、特別展示等の実施)

6. 経営戦略会議(府内評価)

評価	担当課評価同様に、維持したとする。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。特にジモト大学やコミュニティ・スクールの取組を、町民全体に浸透させてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標①はコロナの影響で致し方なく、②は目標を達成しており、ジモト大学やCSの取組は、施策方針から前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>4.に記載のデジタル学習について、GIGAスクールの対応として、公共施設で利用しやすいようにしてほしい</li> <li>・柏樹学園の生徒数が減っている、まだ勤いている人もいることから、今後の在り方を見直すべきだと思う</li> <li>・ふるさと歴史館の運営方法について検討してもらいたい</li> <li>・市民の自発的な取組に対して、町としての予算支援、情報提供を伴走化してほしい</li> </ul>	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

## 2022年度 施策マネジメントシート【2021年度実績評価】

作成: 2022年 6月 15日

施策番号 2-2-1	施策名 地域文化の振興	基本目標 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり		
		政策名 地域文化の形成とスポーツ環境の充実		
主管課 施策関係課	生涯学習課 環境土木課	課長名 日下勝祐	内線 451	

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
地域における文化活動への参加を促進するとともに、文化財などの収集・活用をすすめます。		町民	・文化・芸術を身近に感じさせる地域づくり				心豊かに暮らせるまち	
成果指標	説明	単位	基準値(2021年度) 45.0	2019年度実績 74.3	2020年度実績 77.4	2021年度実績 73.0	2022年度目標 45.0	
① 文化活動がしやすい感じる町民の割合	住民意識調査	%	42.2	74.3	77.4	73.0	45.0	
② 文化活動への参加者数	生涯学習課(旧社会教育課)調べ	人	1,196	1,220	1,384	1,172	960	
③								
④								
成果指標 設定の考え方	①前期計画で得られなかった評価(45%超)を目標値としたもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②現状の加速する減少率を改善し下げ止まりの傾向を示すもの。							

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算
施策事業費(千円)	12,224	14,003	8,859	16,304
人工数(業務量)	0.6589	0.5721	0.6829	0.5229

## 3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input checked="" type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①②ともに指標は前年をやや下回ったものの、コロナ感染症の影響下で減少幅は抑えられた。文化団体や町民活動支援センター登録団体などの活動が評価されたことと、事業も様々な制限の中である程度実施できたことによる評価と解する。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる  <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能  <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	芸術鑑賞会は、町民参加による芸術鑑賞会実行委員会による企画・実施の取組みを継続実施する。 また、町民文化展への出展に対する協議を進め、これまで以上に多くの作品が展示され、鑑賞できるよう内容検討する。 文化活動の確保と充実に向け、文化協会をはじめ関係団体と連携し、多くの町民が参加できる事業の実現を図る。
(2)施策の成果評価に対する2021年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芸術鑑賞会等開催事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	芸術・文化振興支援事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	・町民との連携による文化芸術活動の充実 芸術鑑賞会等開催事業では、町民参加による実行委員会組織での企画・運営が参加者からの高い評価につながっており、今後も継続実施する。 町民文化展の運営や出展に関する進め方について、見直しを含めて関係団体との協議が必要。 ・児童生徒の文化芸術振興 全国全道大会出場支援は、文化活動がしやすい感じる町民の割合への貢献度が高い。 ・文化活動団体の会員等の減少や指導者、後継者の確保という課題に対し、文化協会は活動方針等の明確化と体制の強化が必要。また、事業の魅力を再考するなど新たな取組みが必要である。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)							
担当課評価	計画策定期と比較すると成果は向上となるが、この数年の状況から判断すると現状維持程度。文化団体の活動に対し、新たな取組みへの協議や支援が必要。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
A:実現した D:(前期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した	B:(前期実施計画策定期と比較して)大きく前進した	C:(前期実施計画策定期と比較して)前進した E:(前期実施計画策定期と比較して)後退した					

#### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術鑑賞会の開催は、町民参加による実行委員会組織として企画・運営を担っていただき、高評価を得ていることから、継続実施として内容充実に努める。</li> <li>市民文化展の実施内容を見直す必要がある。</li> <li>文化協会活動の内容については、事業発展のための取組みを再考し多くの町民が参加・鑑賞できる事業の実施と組織の強化が必要がある。</li> <li>文化芸術活動への支援として、鑑賞会、クリニック等の充実を図るとともに、大会出場助成を継続する。</li> <li>フレンドリーコンサートの内容充実と鑑賞者の増を図る工夫が必要である。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化協会活動に要する施設利用料の減免要請。</li> <li>市民文化展の内容を再考。</li> </ul>

#### 5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術鑑賞会の継続開催。町民参加の実行委員会組織からの提案事業を実施。 →様々な分野の鑑賞による町民満足度の向上。</li> <li>文化活動における「一流を見て、聴いて、学ぶ」視点から、各分野の技術や取組姿勢などについてクリニックを開催。 →各種講座の開催においても実施。</li> <li>文化協会の活動内容などを検証し、魅力ある組織、活動への協議と事業実施への支援。 →組織体制強化への協議。</li> <li>指定管理者と連携した公民館講座の充実。</li> <li>文化活動に必要な設備備品の計画的な整備。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果			○				
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定期と比較して)前進した D:(前期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定期と比較して)後退した					

#### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標①と②が達成されており、芸術鑑賞会が町民参加しやすく、図書館の取組みから、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果			○				
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民参加を公表し、参加者の「達成感」を味わえる取組を行ってほしい</li> <li>文化協会活動の施設利用料の減免を検討してほしい</li> <li>文化協会登録料の補助について検討してほしい</li> <li>文化団体、文化協会の組織体制の強化を進めてほしい</li> <li>文化財の「見える化」に取り組んでほしい</li> <li>文化活動の利用料が人数に関らず同じであり、予約方法のルールについて利用者から聞き取りをし、利用料や予約方法について改定に取り組んでほしい</li> </ul>	A:実現した B:(前期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定期と比較して)前進した D:(前期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定期と比較して)後退した					

施策番号 2-2-2	施策名 スポーツしやすい環境づくり	基本目標 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり
	主管課 生涯学習課	政策名 地域文化の形成とスポーツ環境の充実 課長名 日下勝祐 内線 451
施策関係課		

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
町民がいつでも気軽に自由にスポーツできる環境づくりをすすめます。		町民		・いつでも気軽に自由にスポーツできるようにする			健康で明るいまちづくりを実現する	
成果指標	説明	単位	策定期(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度目標	
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	92.2	83.6	83.8	83.5	95.0	
② 芽室町内の体育施設利用者数	利用実績	人/年	177,638	165,626	115,020	124,734	180,000	
③ 高校生以下の初心者がゲートボールを体験できる機会	生涯学習課(旧社会教育課)調べ(教室・講座数)	回/年	34	33	18	21	46	
④								
成果指標設定の考え方	①住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②前期計画で達成できなかつた数値を目標とするもの。 ③事業機会を30%UPで推進しようとするもの。							

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算
施策事業費(千円)	262,925	202,831	181,403	272,236
人手数(業務量)	1.8149	1.9441	1.6899	1.8615

## 3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した	想定される理由	スポーツ振興事業全般において昨年に引き続きコロナ感染症の影響により施設の閉館や事業の縮小または中止を余儀なくされ、十分な事業の実施とならず成果を上げることができなかつた。しかしながら、近年のソフト事業の充実と施設の運営や維持管理等に一定の評価をいただいたものと解する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかつた		
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した		
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠(理由)	民間企業・団体等との連携協定等ソフト事業の充実では、多種目における事業実施と指導者の育成・確保のための取組を強化する。 社会体育施設再整備構想に基づき、プール建替に伴う周辺施設との複合機能を強化する。 本町発祥のゲートボールは、再生計画の実施により競技として継続できる環境づくりや特に若い世代への普及活動に努める。
	現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能		
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい		
(2)施策の成果評価に対する2021年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	各種大会出場支援事業
			ゲートボール普及活動事業
			チャレンジデー実施事業
			スポーツ人材強化・育成事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	•スポーツ振興において民間企業・団体等との連携協定に基づく事業は、町民からの期待度も高く、すでに実施した事業への評価、満足度も高いといえる。しかしながら、昨年に引き続きコロナ禍で事業縮小や中止を余儀なくされた。今後もこれらの事業推進により町民満足度の向上を図る。 •社会体育施設については、プール建替事業をはじめ、周辺施設の整備はもとより、町全体の施設整備や維持管理について社会体育施設再整備構想に基づき計画的な実施に努める。 •ゲートボールの再生については、特に若い世代への普及を重点的に進め、継続して取り組める環境の整備等について関係団体と連携し強化しなければならない。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)							
担当課評価	コロナ下での事業縮小や施設の利用制限により成果は後退しているものの、ソフト事業の充実や社会体育施設の計画的な整備については向上している。 ゲートボールの再生に向けた取組みが重要課題。	進捗結果	A	B	C	D	E
A:実現した D:(前期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した	B:(前期実施計画策定期と比較して)大きく前進した	C:(前期実施計画策定期と比較して)前進した E:(前期実施計画策定期と比較して)後退した				○	

#### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興のソフト事業における民間企業・団体との事業連携強化。「一流を見て、聴いて、学ぶ」ための町民参加事業の継続実施。</li> <li>・社会体育施設再整備構想に基づく計画的な施設整備と適切な運営、維持管理の実施。</li> <li>・プール建替事業の実施と周辺施設整備。町全体の社会体育施設再整備の計画的な推進。</li> <li>・ゲートボール競技人口の減少。若年層や現役世代社会人に対する普及活動の強化。</li> <li>・日本ゲートボール連合の「再生プロジェクト」及び本町の再生計画「挑戦の流儀」の実施。</li> <li>・スポーツ少年団活動継続のための指導者の確保。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール建替後の社会体育施設の計画的な整備。</li> <li>・社会体育施設周辺の環境整備(駐車場、トイレ、支障木)。</li> <li>・健康プラザ人工芝の適正管理。</li> <li>・ゲートボール普及事業の強化。</li> </ul>

#### 5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

・民間企業・団体等との連携によるスポーツ振興ソフト事業の強化(一流を見て、聴いて、学ぶ)。 →多種目における計画的な実施。 →指導者の育成・確保に向けた連携活動。
・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備。 →プール建替に関する作業の適正実施と周辺施設との複合機能の充実。
→施設機能の維持に要する計画的修繕
・ゲートボール普及事業において、日本ゲートボール連合が掲げる「再生プラン」への参画と、本町の再生計画の着実な推進。
・少年団活動における指導者確保について、総合型地域スポーツクラブの調査研究と指導者派遣についての検討と事業化の見極め。 →中学部活動の地域移行との連携を見据えた対応策検討。

#### 6. 経営戦略会議(府内評価)

評価	担当課評価同様に、維持したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定期と比較して)前進した D:(前期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定期と比較して)後退した				○	

#### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価、府内評価と同様に、維持したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者がゲートボールに初めてプレーしやすいうように、ルールを簡略化した形で段階を踏んでプレーしてもらうことを検討してほしい</li> <li>・けん玉、スケートボードなど、スポーツの枠を広げてもらいたい</li> <li>・ゲートボールも文化財の扱いとして、社会教育と連携して取り組んでほしい</li> <li>・プール建設のハード面と、一流を見て学ぶソフト面を一体として取り組んでほしい</li> <li>・総合体育馆とプールの使用料の適正化、高校生以下の無料化について検討してほしい</li> </ul>	A:実現した B:(前期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定期と比較して)前進した D:(前期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定期と比較して)後退した				○	

No.	施策番号	施策名	外部意見			担当課		
19	2-1-2	社会教育の推進	意見	GIGAスクールの対応として、公共施設で利用しやすいようにしてほしい。		生涯学習課		
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可		
			対応事業名	公民館施設維持管理事業、図書館維持管理事業				
			対応内容	公民館、図書館に関しては、来館者が快適・便利にインターネットを利用することができる施設とするため、令和3年度にWifi環境を整えました。				
20	2-1-2	社会教育の推進	意見	柏樹学園の生徒数が減っており、まだ働いている人もいることから、今後の在り方を見直すべきだと思う				
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可		
			対応事業名	高齢者学級「柏樹学園」開設事業				
			対応内容	現在においても、学習プログラムについて学園生へのアンケートを行なながら計画しているところですが、今後も学園生の思いに沿った充実したプログラムとなるよう、その方法について検討します。				
21	2-1-2	社会教育の推進	意見	ふるさと歴史館の運営方法について検討してもらいたい。				
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可	生涯学習課	
			対応事業名	ふるさと歴史館運営事業				
			対応内容	現在においても、通常展示以外に特別展示や体験学習を企画・実施しているところです。今後も、郷土の歴史について理解を深める機会の提供を継続して実施します。				
22	2-1-2	社会教育の推進	意見	町民の自発的な取組に対して、町としての予算支援、情報提供を伴走化してほしい。			生涯学習課	
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可		
			対応事業名	公民館施設維持管理事業、芸術・文化振興支援事業				
			対応内容	自発的な取り組みがどのように町全体の文化の推進に関わっていくか、また、その活動のためにどのような設備備品が必要かを確認しながら、計画的な整備を検討します。				

No.	施策番号	施策名	外部意見			担当課		
23	2-2-1	地域文化の振興	意見	芸術鑑賞会について、町民参加を公表し、参加者の「達成感」を味わえる取組を行ってほしい。		生涯学習課		
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可		
			対応事業名	芸術鑑賞会等開催事業				
			対応内容	毎年、町民による芸術鑑賞会実行委員を募集し、実行委員会を立ち上げ、演目の選定や当日の運営を行っています。				
24	2-2-1	地域文化の振興	意見	文化協会活動の施設利用料の減免を検討してほしい。			生涯学習課	
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可		
			対応事業名	芸術・文化振興支援事業				
			対応内容	公共施設全体に関わってくることとなるため、回答できません。				
25	2-2-1	地域文化の振興	意見	文化協会登録料の補助について検討してほしい			生涯学習課	
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可		
			対応事業名	芸術・文化振興支援事業				
			対応内容	現在、文化協会に対して事業補助を行っていますが、各団体に対して文化協会への登録料補助については実施する考えはありません。登録料の額については、文化協会と協議をお願いします。				
26	2-2-1	地域文化の振興	意見	文化団体、文化協会の組織体制の強化を進めてほしい			生涯学習課	
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可		
			対応事業名	芸術・文化振興支援事業				
			対応内容	文化協会としても意欲的に取り組んでいただく必要はありますが、協会の新たな取り組みについて、会が活発に活動できるよう協会役員と協議していきます。				
27	2-2-1	地域文化の振興	意見	文化財の「見える化」に取り組んでほしい			生涯学習課	
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可		
			対応事業名	文化財保護事業				
			対応内容	現在の文化財は「芽室公園一帯のかしわ」であり、その保護と周知を行っているところです。今後は新たな周知方法についても検討します。				
28	2-2-1	地域文化の振興	意見	文化活動の利用料が人数に関らず同じであり、予約方法のルールについて利用者から間取りをして、利用料や予約方法について改定を取り組んでほしい			生涯学習課	
			対応方針	1 対応する	2 検討する	3 対応不可		
			対応事業名	公民館施設維持管理事業				
			対応内容	公民館の使用料金は部屋ごとの金額となっているため、利用人数に応じた広さの部屋をご利用ください。また、予約方法については指定管理者で行う利用者アンケートなどを参考に、検討します。				

No.	施策番号	施策名	外部意見			担当課
29	2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	若者がゲートボールに初めてプレーしやすいように、ルールを簡略化した形で段階を踏んでプレーしてもらうことを検討してほしい。		生涯学習課
			対応方針	① 対応する 2 検討する 3 対応不可		
			対応事業名	ゲートボール普及活動事業		
			対応内容	小学校の授業においてゲートボールを取り入れ、簡略化したルールでプレーし、児童にゲートボールの楽しさを感じていただくようにしています。		
30	2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	けん玉、スケートボードなど、対象とするスポーツの枠を広げてもらいたい。		生涯学習課
			対応方針	① 対応する ② 検討する 3 対応不可		
			対応事業名	スポーツ人材強化・育成事業		
			対応内容	御意見の競技などにおける人材の強化、育成に係る要望の際は、本町の体育会と連携を図り、その必要性について検討します。		
31	2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	ゲートボールも文化財の扱いとして、社会教育と連携して取り組んでほしい。		生涯学習課
			対応方針	① 対応する 2 検討する 3 対応不可		
			対応事業名	ゲートボール普及活動事業		
			対応内容	本町が発祥の地であるゲートボールは、芽室遺産として平成18年に数多くの候補の中から選定されています。今後もゲートボールは、幅広い年齢で楽しめる生涯スポーツとして普及活動を継続します。		
32	2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	プール建設のハード面と、一流を見て学ぶソフト面を一体として取り組んでほしい。		生涯学習課
			対応方針	① 対応する ② 検討する 3 対応不可		
			対応事業名	温水プール維持管理事業		
			対応内容	アスリートや成果を挙げた指導者を招聘し、少年団や部活動における技術の向上、また、指導者の育成を学ぶ機会を継続し実施します。		
33	2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	総合体育館とプールの使用料の適正化、高校生以下の無料化について検討してほしい。		生涯学習課
			対応方針	① 対応する ② 検討する 3 対応不可		
			対応事業名	総合体育館維持管理事業／温水プール維持管理事業		
			対応内容	現在実施しています温水プールの建て替えに伴い、それら施設に係る利用料金の見直しを実施予定です。施設を利用しやすい料金設定や維持管理を考慮し、利用料金を設定します。		